

1. 略歴

- 1994年3月 上智大学文学部英文学科卒業
- 1997年3月 東京大学大学院人文社会系研究科欧米系文化研究専攻修士課程修了
- 2002年3月 東京大学大学院人文社会系研究科欧米系文化研究専攻博士課程単位取得退学
- 2004年4月 東京学芸大学教育学部講師
- 2004年6月 ニューヨーク州立大学バッファロー校大学院英文科博士課程修了
- 2006年4月 東京学芸大学教育学部助教授
- 2007年4月 東京学芸大学教育学部准教授
- 2007年10月 東京大学大学院総合文化研究科准教授
- 2010年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

アメリカ文学

b 研究課題

モダニズム文学を中心とするアメリカ小説研究

c 概要と自己評価

主たる研究対象は、ウィリアム・フォークナーを中心としたアメリカにおけるモダニズム期の小説である。個々の作品を、大戦間という時代的文脈と小説の発展という美学的問題とあわせて、包括的に考察し、理解することを目標としている。そうした目的のために、近年においては「純文学」だけではなく、「大衆文学」と見なされている作品をも研究対象としてきた。2020～21年度は、フォークナーへの関心を発展させる一方、第2次世界大戦以降の現代小説を広く視野に取めた研究を継続的にこなした。

d 主要業績

(1) 著書

共著、巽孝之監修、下河辺美知子他編、『脱領域・脱構築・脱半球——二一世紀人文学のために』、小鳥遊書房、2021.10

(2) 論文

諏訪部浩一、「F・スコット・フィッツジェラルドと南部——距離の詩学」、『フォークナー』、第22号、89-110頁、2020.7

諏訪部浩一、「Thank You for Your Service——アメリカ戦争小説の系譜」、『群像』、第76巻第9号、197-208頁、2021.9

(3) 書評

岡本正明、『アルタモント、天使の詩——トマス・ウルフを知るための10章』、『アメリカ文学研究』、第57号、117-18頁、2021.3

(4) 学会発表

国内、諏訪部浩一、「ナサニエル・ホーソーンの二つの時間」、科学研究費・基盤研究(B)(メイフラワー・コンパクトにおける排除/包括の理論と環大西洋文化の再定位)研究会、Zoom、2021.7.31

(5) 啓蒙

諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ①風俗小説」、『群像』、第75巻第6号、169-72頁、2020.6

諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ②リージョナリズム/南部小説」、『群像』、第75巻第7号、516-19頁、2020.7

諏訪部浩一、「アメリカ文学」、『文藝年鑑2020』、68-70頁、2020.7

諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ③「ラフ・サウス」の文学」、『群像』、第75巻第8号、395-98頁、2020.8

諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ④郊外小説」、『群像』、第75巻第9号、464-67頁、2020.9

諏訪部浩一、「「普通」ではない「普通小説」」ジム・トンプソン、真崎義博訳『雷鳴に気をつけろ』、文遊社、395-403頁、2020.9

諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ⑤ノワール小説」、『群像』、第75巻第10号、399-402頁、2020.10

- 諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ⑥ゴシック小説」、『群像』、第75巻第11号、444-47頁、2020.11
- 諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ⑦ロード・ノヴェル」、『群像』、第75巻第12号、509-12頁、2020.12
- 諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ⑧ドロップアウト小説」、『群像』、第76巻第1号、451-54頁、2021.1
- 諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ⑨戦争小説」、『群像』、第76巻第2号、426-29頁、2021.2
- 諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ⑩メタフィクション」、『群像』、第76巻第3号、517-20頁、2021.3
- 諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ⑪歴史小説(1)」、『群像』、第76巻第4号、575-78頁、2021.4
- 諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ⑫歴史小説(2)」、『群像』、第76巻第5号、523-26頁、2021.5
- 諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ⑬女性文学」、『群像』、第76巻第6号、572-75頁、2021.6
- 諏訪部浩一、「アメリカ文学」、『文藝年鑑2021』、68-70頁、2021.6
- 諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ⑭ゲイ/レズビアン小説」、『群像』、第76巻第7号、517-20頁、2021.7
- 諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ⑮ユダヤ系文学」、『群像』、第76巻第8号、497-500頁、2021.8
- 諏訪部浩一、桐山大介、「若きフォークナーの豊かさ面白さ」、『週刊読書人』、2021年9月10日号、第1-2面、2021.9
- 諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ⑯黒人文学」、『群像』、第76巻第10号、487-90頁、2021.10
- 諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ⑰先住民文学」、『群像』、第76巻第11号、450-53頁、2021.11
- 諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ⑱アジア系文学(1)」、『群像』、第76巻第12号、556-59頁、2021.12
- 諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ⑲アジア系文学(2)」、『群像』、第77巻第1号、464-67頁、2022.1
- 諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ⑳アジア系文学(3)」、『群像』、第77巻第2号、484-87頁、2022.2
- 諏訪部浩一、「薄れゆく境界線——現代アメリカ小説探訪 ㉑アジア系文学(4)」、『群像』、第77巻第3号、516-19頁、2022.3
- (6) マスコミ
「リレーおひこおん ハードボイルド、将棋に通ず」、『朝日新聞』、2021年5月11日朝刊第15面
「名著60——『アブサロム、アブサロム!』」、『読売新聞』、2021年8月29日朝刊第9面
- (7) 翻訳
個人訳、William Faulkner、*Flags in the Dust*、諏訪部浩一、『土にまみれた旗』、河出書房新社、2021.6

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

- 非常勤講師、学習院大学、「英語文化コース演習D」、2020.4~2022.3
- 非常勤講師、早稲田大学、「英米文学特殊研究3」、2020.4~2020.9、2021.4~2021.9
- 非常勤講師、東北学院大学、「現代英米文学演習II」、2020.8~2020.8、2021.8~2021.9
- 非常勤講師、高知大学、「アメリカ文学論I」、2020.8~2020.9
- 非常勤講師、関西学院大学、「比較文学特殊講義1」、2021.8~2021.8

(2) 学会

- 国内、日本アメリカ文学学会、編集委員、2020.4~2022.3、代議員、2020.4~2022.3
- 国内、日本英文学会、編集委員、2020.4~2021.3
- 国内、日本英文学会関東支部、監事、2020.4~2022.3
- 国内、日本アメリカ文学学会東京支部、評議員、2020.4~2022.3、支部会報編集委員、2020.4~2022.3、副支部長、2020.4~2021.3、支部長、2021.4~現在
- 国内、日本ウィリアム・フォークナー協会、編集委員、2020.4~2022.3、評議員、2020.4~2022.3